

保育園等の利用定員の 確保について(案)

こども未来部 保育・幼稚園課
平成28年2月

利用定員の確保の状況

長野市は「利用希望者のスムーズな受入体制を引き続き確保していくため、利用定員の弾力運用（※1）の実施及び施設の増設を伴わない既存保育園等の利用定員拡大により待機児童ゼロの状態を維持していく」、という方針を基本としており、現在は待機児童がゼロの状態となっています。

今後とも引き続きスムーズな受け入れを行っていくためには、適正な利用定員の確保が必要となります。

（※1 利用定員の弾力運用：基準を満たしていれば利用定員を超えて子どもの受け入れができること）

利用定員拡大等の意向調査

平成28年度の受入体制の状況を確認するため、私立保育園・認定こども園に対し利用定員拡大に関する調査を実施しました。（平成27年11月～12月調査実施）

また、私立幼稚園についても認定こども園への移行に関する調査を実施しました。

○利用定員拡大に関する調査

調査内容	・平成28年度の利用定員増加の予定の有無 ・予定ありの場合、2号認定、3号認定(0歳、1・2歳)(※2)の定員数
依頼先	・市内私立保育園・認定こども園(48園)

※2 2号認定：3～5歳の保育に欠ける子ども。3号認定：3歳未満の保育に欠ける子ども。

○認定こども園移行に関する調査

調査内容	・平成28年度から認定こども園に移行する予定の有無 ・予定ありの場合、2号認定、3号認定(0歳、1・2歳)の定員数
依頼先	市内私立幼稚園(21園)

調査結果について

長野市全体では私立保育園6園、認定こども園4園が利用定員を増やす予定であり、私立幼稚園1園が認定こども園に移行（幼稚園型認定こども園として手続き中）する予定となっています。

また、公立保育園では4園で3号認定（0歳）の利用定員数を増やすこととし、平成28年度から新たに103人分の利用定員が拡大できる見込みとなっています。

○平成28年度からの利用定員増減数

区分	3号認定 (0歳)	3号認定 (1・2歳)	2号認定	合計
私立保育園	10人	25人	△15人	20人
私立認定こども園	6人	40人	5人	51人
私立幼稚園	0人	6人	14人	20人
公立保育園	12人	0人	0人	12人
合計	28人	71人	4人	103人

平成28年度の保育需要と利用定員の状況

『長野市子ども子育て支援事業計画』には市内12の提供区域ごとに平成31年度までの需給バランスが示されており、中山間地域等を除く提供区域の中では、3つの提供区域で利用定員の拡大を図ることとされています。今回の利用定員拡大等の調査結果により、下記の2つの提供区域で利用定員拡大の目標に達し、保育需要に対する利用定員数が充足する見込みとなりました。

②提供区域(第三、古牧、三輪、吉田、柳原、大豆島、朝陽)

○現在の計画:3号認定(0歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	160	154	149	145	141
確保の内容(b)	148	149	149	149	149
過不足(b-a)	△12	△5	0	4	8

○調査結果反映後:3号認定(0歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	160	154	149	145	141
確保の内容(b)	148	158	158	158	158
過不足(b-a)	△12	4	9	13	17

○現在の計画:3号認定(1・2歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	735	709	685	662	641
確保の内容(b)	678	682	685	685	685
過不足(b-a)	△57	△27	0	23	44

○調査結果反映後:3号認定(1・2歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	735	709	685	662	641
確保の内容(b)	678	724	724	724	724
過不足(b-a)	△57	15	39	62	83

⑤提供区域(篠ノ井、川中島、更北、信更、大岡)

○現在の計画:3号認定(0歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	186	183	181	178	174
確保の内容(b)	176	179	181	181	181
過不足(b-a)	△10	△4	0	3	7

○調査結果反映後:3号認定(0歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	186	183	181	178	174
確保の内容(b)	176	188	188	188	188
過不足(b-a)	△10	5	7	10	14

○現在の計画:3号認定(1・2歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	726	719	712	702	691
確保の内容(b)	733	733	733	733	733
過不足(b-a)	7	14	21	31	42

○調査結果反映後:3号認定(1・2歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	726	719	712	702	691
確保の内容(b)	733	738	738	738	738
過不足(b-a)	7	19	26	36	47

しかし、④提供区域(古里、浅川、若槻、長沼)では目標の数値に達しなかったため、引き続き利用定員の拡大を図る必要があります。

④提供区域の状況(古里、浅川、若槻、長沼)

○現在の計画:3号認定(0歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	79	76	74	72	70
確保の内容(b)	53	64	74	74	74
過不足(b-a)	△26	△12	0	2	4

○現在の計画:3号認定(1・2歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	272	262	253	245	237
確保の内容(b)	213	233	253	253	253
過不足(b-a)	△59	△29	0	8	16

○調査結果反映後:3号認定(0歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	79	76	74	72	70
確保の内容(b)	53	59	74	74	74
過不足(b-a)	△26	△17	0	2	4

○調査結果反映後:3号認定(1・2歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	272	262	253	245	237
確保の内容(b)	213	227	253	253	253
過不足(b-a)	△59	△35	0	8	16

今後の適正な利用定員確保について

今回の調査結果を基に、引き続き待機児童ゼロの状態を維持するため、下記により適正な利用定員の確保に努めます。

区分	今後の利用定員確保の方策
利用定員が充足している提供区域	毎年の受け入れ状況を見ながら、引き続き適正な利用定員を維持していく。
利用定員が不足している提供区域	引き続き既存保育園等の利用定員の拡大を図っていくと共に、新規認可による利用定員の確保を図っていく。

長野市全体の需給バランスについて

平成28年度以降の利用定員は、個別の提供区域では不足するところもありますが、市全体では充足している状態となっています。利用定員が不足する提供区域における利用定員の拡大と共に、市全体での利用定員の弾力運用及び入所調整によるスムーズな受け入れ体制を確保することにより、今後も待機児童ゼロの状態を維持していきます。

○長野市全域の2号認定

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	5,139	5,033	4,931	4,785	4,663
確保の内容(b)	6,072	6,076	6,076	6,076	6,076
過不足(b-a)	933	1,043	1,145	1,291	1,413

○長野市全域の3号認定(0歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	564	547	535	521	507
確保の内容(b)	581	609	626	626	626
過不足(b-a)	17	62	91	105	119

○長野市全域の3号認定(1・2歳)

	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	H31年度
量の見込み(a)	2,401	2,333	2,272	2,210	2,152
確保の内容(b)	2,395	2,466	2,517	2,517	2,517
過不足(b-a)	△6	133	245	307	365